

斑点米カメムシ類に注意 適期防除で斑点米を防ぎましょう!!



7月上旬の水田畦畔等雑草地における斑点米カメムシ類の生息密度は、平年並みに多く、特にイネ科雑草の穂が付いている所での発生が多くなっています。

本年は高温傾向で推移しており、水稻の出穂期が早まっています。

稲の出穂とともに、カメムシ類の水田内への侵入量も増加するので、穂揃期と糊熟初期の2回防除を徹底しましょう。

1 防除対策

○薬剤防除は、第1回目が穂揃期、第2回目が糊熟初期の2回防除が基本。

○カメムシ類の発生が多い場合は、さらに収穫14～7日前に追加防除を行う。

○粒剤での防除は、薬剤によって散布時期が異なるので注意する。

○カメムシ類は、水田の畦畔雑草地にも生息しているので、本田防除の際は畦畔も含めて防除する。

また、雑草の多い水田や休耕田等の雑草地に隣接している水田では、カメムシ類の発生が多くなるので防除の徹底を図る。

2 防除薬剤

(1) 粉剤・液剤 (殺虫剤単剤のみ記載)

(2) 粒剤

防除時期	IRAC コード	薬剤名	収穫前 日数	防除時期	IRAC コード	薬剤名	収穫前 日数	
早生・中生 第1回目： 穂揃期 (出穂 3～5 日後頃) 第2回目： 糊熟初期 (出穂 10～14 日後頃)	1B	スミチオン粉剤3DL★	21 日前	出穂10 日前頃	2B	キラップ粒剤	14 日前	
	1B	スミチオン乳剤★	21 日前		2B	ワイドパンチ豆つぶ <small>いもち・雑草との混合剤</small>	35 日前	
	4C	エクシード粉剤DL	7 日前	出穂期	4A	ダントツ粒剤	7 日前	
		エクシードフロアブル	7 日前					
	3A	トレボン粉剤DL★	7 日前	出穂7日 後	4A	アルバリン粒剤・スタークル 粒剤	7 日前	
		トレボンエアー	14 日前					
	4A	4F	エミリアフロアブル	7 日前	・粒剤は薬剤によって散布適期が異なるので注意する。 ・粒剤の散布時は水深3cm程度の湛水状態とし、自然落水する。 ・混合剤の場合は、使用時期(収穫前日数)が異なるので注意する。			
		アルバリン粉剤DL★・ スタークル粉剤DL★	7 日前					
		スタークル液剤10	7 日前					
		4A	ダントツH粉剤DL★	7 日前				
4A	ダントツフロアブル	7 日前						

★印はニカメイチュウにも登録あり

・薬剤は令和5年度福井県農作物病害虫防除指針を参照。

[農作物病害虫防除指針\(福井県\)](#) | [福井県ホームページ\(fukui.lg.jp\)](#)

(<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/021033/shokuryouanzen/boujoshishin.html>)

*熱中症には十分注意して作業を行う。

◇◇◇ 最新の農薬登録情報 (<http://pesticide.maff.go.jp>) を確認して下さい ◇◇◇

福井県農業試験場病害虫防除室

連絡先 0776(54)5100

<https://www.pref.fukui.lg.jp/doc/noushi/kankyo/boujyo.html>

QRコードをスキャンしてください →



農薬の飛散に注意しましょう

農薬の安全使用に努めて適期防除しよう

稲の生育に注意し、防除適期を逃さないようにしましょう!